

# Rotary



Weekly Bulletin Vol.69 No.5 2024-2025 RI会長 ステファニー A. アーチック 泉大津ロータリークラブ(創立1956.5.4)

## 週報 第3256回

会長 渡辺 万寿 副会長 瀧谷 達  
幹事 根尾 玲子 SAA 中田 広宣

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津  
TEL 0725-20-1121  
例会日時 毎週金曜日 12:30 ~ 13:30



事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F  
TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501  
メールアドレス info@izumiotsu-rc.org  
ホームページ http://izumiotsu-rc.org



### 今週の例会(2024年8月2日) 第3256回

#### ■ プログラム

クラブフォーラム クラブ奉仕部門各委員長

#### ■ 次週のプログラム

8月9日: 卓話担当 榎本 善夫 会員  
卓話 川崎 久典 会員  
「呻吟語に学ぶ」

#### ■ 今後の予定

・8月16日: 定款の規定により例会休会

#### ■ 祝 誕生日

岡本 笑明(8日)

#### ■ 今月のロータリーソング

四つのテスト

#### 今月の歌

海

海はひろいな 大きいな  
月がのぼるし 日がしずむ  
海にお船を 浮かばして  
行ってみたいな よその国

#### ■ 先週の例会



会長の時間 渡辺 万寿 会長

#### <ポール・ハリスの生涯>

1900年のある秋の日、ポール P. ハリスは、弁護士仲間であるボブ・フランクから、富裕層が住むシカゴ北部にある自宅での食事に誘われました。食事後、近所を散歩していた二人は、界限に立ち並ぶいくつかの店に立ち寄りました。そこでハリスは、フランクがこれらの店の人たちと友人のように親しげに話していることに驚きを覚えました。弁護士として自立するためにシカゴに引っ越して以来、ハリスは、フランクが地元商店の仲間たちと交わっていたような友情を目にしたことがありませんでした。自分が生まれ育ったニューイング

ランドの町を彷彿とさせるような友愛の精神を、何とか人々と分かち合い、広げる方法はないかと、ハリスは考えを巡らせました。そしてついに、地元のほかの事業者たちと会う約束を交わしたハリスは、取引、コミュニティー、友情を基にしたクラブをつくるという構想を打ち明けました。彼のこのビジョンが、今日のロータリーを形づくる礎となったのです。

大都市に住む何百、いや、何千という人々が、自分と同じ思いをしているのではないか…。立身出世するために農場や小さい村からシカゴにやって来た若者たちが大勢いるはずだ…。彼らを一堂に集めたらどうだろうか。彼らも自分と同じように友情を求めているとしたら、きっと何か生まれ出るに違いない。

-- ポール P. ハリス「ロータリーへの私の道」

## 幹事報告

根尾 玲子 幹事

○本日メールボックスに、クラブ概要およびクラブ活動計画書を入れさせて頂いております。尚本年度は、定款第7条第1節の規定により、休会の日が5回、振替休会が3回あります。

○次回8月2日(金)の例会は、クラブフォーラムとなっております。クラブ奉仕部門各委員長の皆様、よろしくお願ひ致します。

## 委員会報告

○本日例会終了後、くすの木の間にて、第1回社会奉仕委員会を開催致しますので、案内のあった方は出席の方よろしくお願ひ致します。

(櫻井 善章 社会奉仕委員長)

○本日例会終了後、会員増強・クラブ研修委員会を開催致しますので、関係各位の方はご出席よろしくお願ひ致します。

(松村 泰英 会員増強・クラブ研修委員長)

## ■ ビジター

ガバナー 野村 壮吾 様(和歌山南RC)  
ガバナー補佐 久保 忠生 様(和泉RC)

## ■ 出席報告

会員数44名 出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
7/26	36名	8名	—	81.82%
7/12	39名	5名	3名	95.45%

## ■ メークアップ

榎本(7/19 ワールド大阪ロータリーEクラブ)

高寺(7/19 国際奉仕部門合同委員会)

臼谷(7/19 親睦活動委員会)

## ■ ニコニコ箱

- ・野村ガバナー、久保ガバナー補佐、本日はお忙しい所おみえ下さりありがとうございます(渡辺)
- ・野村ガバナー様、久保ガバナー補佐様、本日はお越し頂き有難うございます。宜しくお願ひします(根尾)
- ・野村ガバナー様、久保ガバナー補佐様、本日はよろしくお願ひします(中田)
- ・野村ガバナー、お越し頂き誠に有難うございます。本日はどうぞ宜しくお願ひ致します(松内)
- ・本日は野村ガバナー様、久保ガバナー補佐様、お越し頂き有難うございます。本日宜しくお願ひします(小門)
- ・野村ガバナー様、久保ガバナー補佐様、ようこそ御越し下さいまして有難うございます(釜野)
- ・前回例会欠席のおわび(小野寺)

ニコニコ箱合計	19,000円
累計	101,000円



国際ロータリー第2640地区  
2024-2025年度  
ガバナー 野村 壮吾 様

2024-25年度の第2640地区の基本方針は、「四つのテストを実践しよう」です。

ステファニーA.アーチック2024-25RI会長は、「四つのテスト」の実践で世界はよりよくなると仰っています。思いやりのある行動を取ることで、不安や落ち込んでいた心を和らげ、既知のどのアプローチよりも社会的なつながりを効果的に促すことが出来ます。私たちは他者を助けることに喜びを見出します。助けられる人々、また、その周りにいる人々もこのロータリーの奉仕活動から精神的な平和を感じ、地域の平和構築推進のインパクトにつながることでしょう。

ロータリーの奉仕活動の原単位は、会員個人です。ひとりひとりが自身の行動を「四つのテスト」と照らし合わせながら行動することで、ロータリーの奉仕活動の価値は向上します。

個人の集まりがクラブです。「四つのテスト」を実践している個人が集まったクラブは、思いやり溢れ、地域社会の為になる奉仕活動が出来る元気なクラブに違いありません。地区の各クラブがこの行動基準を踏まえ、ロータリーの奉仕活動が出来る様に支援して参ります。

各クラブのロータリー活動を支援するにあたり、地

区組織の見直しをはかります。2640地区の身の丈に合った組織のスリム化、また、暗黙知化、属人化している業務、規則などの見直しをして形式知化、マニュアル化して継続性が担保されるように変革します。

また、DEI(多様性、公平さ、インクルージョン)の精神を取り入れ、金太郎アメの様なクラブの集まりでは無く、2640地区の多様なクラブの個性を活かすことを考えると共に新しい事へのチャレンジにも惜しみない支援をしていきます。個性ある2640地区の各クラブが、互いに交流刺激し合う事で、各クラブが成長発展することを願っています。

2024-25年は、「四つのテスト」という手鏡で常に自分自身を写しながら、ロータリー活動を実践して参りましょう。



## ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基盤として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。  
具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

## 四つのテスト

= 言動はこれに照らしてから =

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか